

Mission

計画的な整備で、 利用者に快適な道路空間を提供せよ

土木
PROJECT #2

！「ならの道 リフレッシュプロジェクト」って・・・？

奈良県は、道路整備率が全国最下位の道路環境である（道路統計年報2023より）。舗装に関する要望も多い。そこで、2024年度から5年間をかけて、県が管理する道路のうち特に傷みが激しい区間について重点的に舗装等を行い、道路環境を改善する。舗装の耐久性向上、区画線の維持修繕、道路維持管理のDX等により、快適な道路空間の実現を目指す。



道路マネジメント課
2011年入庁

企画したプロジェクトが始動！ 実現の鍵は現場との連携

県庁（本庁）において、本プロジェクトの企画立案を行いました。自身を含め、課内で試行錯誤した企画方針が決定し、記者会見の場で知事からプロジェクト始動の発表がされたときは緊張感がありましたが、何より必ず遂行せねばという使命感を感じました。道路を利用する方々により快適に利用していただけるよう、土木事務所と連携してプロジェクトを推進していきます。



高田土木事務所
2022年入庁

土木事務所と本庁で連携し、 工事を円滑に進める

企画内容に基づき、土木事務所の私たちが実際に工事の発注を行います。どの道をどんな設計で舗装するかという実施方針を踏まえ、工事を起工するための調査・設計を行います。複数の工事業者と事業を進めており、全体のとりまとめに汗を流す日々。徐々にプロジェクトが進んでいると感じ、やりがいにつながっています。

BEFORE



AFTER



プロジェクトの企画内容・実施方針を決定する本庁と、それに基づき調査・設計・工事を推進する土木事務所の連携はとても重要。この連携があってこそ、統一的にプロジェクトを遂行できます。

Mission

未来に向けたまちづくり 奈良のさらなる発展へ

建築
PROJECT #3

！「施設整備プロジェクト」って・・・？

2027年度中のリニューアルオープンを目指す「奈良県文化会館」の整備をはじめ、磯城郡3町での「大和平野中央田園都市構想」、2031年に開催予定の「国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会」等の大規模プロジェクトにおいて、にぎわいのある、安全で使いやすい施設づくりを行い、奈良県を持続的に発展させていく。

困難な課題を乗り越えた先にある、想像を超えるやりがい



施設整備推進室
2016年入庁

学生時代に、奈良県庁のインターンシップに参加し、奈良県のまちづくりに寄与できることに魅力を感じ、入庁を決めました。現在、文化会館の施設整備業務に携わり、耐震改修や音楽小ホールの新築、アトリウム整備等の設計・工事監理を担当。順調に工事を進め、県民の方々に一日でも早く会館を利用してもらい、喜んでいただくことが目標です。



大規模なまちづくり、施設整備に携われる毎日は刺激的です。

Member その他プロジェクトメンバー

電気



文化会館の電気設備工事の工程管理等を担当。今後は上下水道等のインフラ設備に関わる仕事に挑戦したいです。

機械



文化会館の機械設備工事の内容協議・調整等を担当。国民スポーツ大会等の施設整備計画に関する業務も行っていきます。

建築



文化会館の建築工事の進捗管理のほか、大和平野中央構想の整備計画に関する業務も担当。2027年度のリニューアルオープンが楽しみです！

Mission

みどりと文化的景観を守り、 奈良のさらなる価値を創出せよ

造園
PROJECT #3

！「奈良公園吉城園周辺地区整備プロジェクト」って・・・？

吉城園周辺地区は奈良公園の西端に位置し、旧世尊院等の歴史的な建築物が残る地区である。奈良県は2008年から同地区の保存と活用を行う取組をスタート。観光客の主要動線上に位置する立地に着目し、新たな宿泊施設を中心とした魅力的な空間を構築することとした。



大正時代に建てられた旧知事公舎が宿泊施設として2023年にオープン。土塀の修景工事や宿泊施設の建築に伴う各種申請にも携わりました。



奈良公園室
2022年入庁

業務を通じて日々成長。 経験が通用する手応えを実感！

1年目から吉城園茶室の耐震補強工事等を担当。全国規模のフォーラムや県内の発表会で本プロジェクトを発表し、この経験が土木や造園分野で通用する手応えを実感しました。奈良県には10の都市公園、8の自然公園があります。今後もこれらの現場で経験を積み、造園技師としての知見を広げたいです。